

「宝塚から河口まで」武庫川縦走シリーズ 5

第 102 回武庫川エコハイク
151010 エコグループ・武庫川

武庫川 全長 65km、流域面積 500km²、篠山市、能勢町、三田市、神戸市北区、西宮市、宝塚市、伊丹市、尼崎市の 7 市 1 町を流域に持ち県内有数の人口・資産を抱える 2 級河川である。「武庫川」の名は下流の右岸が武庫郡であり、武庫郡は日本書紀にある「務古水門(むこみなと)」からとか、浪速から見て「向こう」にあるからとか諸説がある。本川の源流は篠山市にある。篠山市から三田盆地までは緩やかな傾斜であるが、道場を過ぎると武庫川渓谷の急流となる。武庫川下流の治水対策として武庫川渓谷に治水ダムが計画されたが、県は武庫川流域委員会を設置して 2 年半にわたり協議した結果、平成 22(2010)年 10 月、20 年間はダムによらず流域対策と堤防強化、河道掘削で治水対策を実施することとなった。

武庫川改修 武庫川の両岸に堤防ができたのは大正 9 年から昭和 3 年の改修工事による。

JR 宝塚駅、阪急宝塚駅 JR 宝塚駅は明治 30(1897)年阪鶴鉄道開通時に開設、阪急宝塚駅は明治 43(1910)年箕面有馬電気軌道(現阪急電鉄)の駅として開設された。

川面井堰 武庫川左岸地区への農業用水取水堰。かつては宝来橋すぐ上流にあったが、平成 11(1999)年新観光ダム建設時に撤去され、ダム湖からの取水となっている。

宝来橋 明治 35(1902)年ごろ、初代宝来橋が架かる。その後何度かの洪水で流失、昭和 30(1955)年の宝来橋で初めて車の通行が可能となった。現在の S 字橋は平成 6(1994)年完成、フランスの彫刻家マルタ・パン女史のデザインによる。橋の左岸側にパン氏の彫刻がある。

宝塚旧温泉 足利時代(16 世紀中頃)武庫川の河原に霊泉が湧くとの記録が残る。明治 19(1886)年武庫川右岸で冷泉が発見され、宝塚温泉が開業。翌年 4 軒となる。明治 30(1897)年阪鶴鉄道が開業とともに入湯客が増える。明治 44(1911)年旅館は 50 軒になる。

宝塚新温泉、宝塚大劇場 明治 43(1910)年箕面電気軌道(現阪急京都線)、翌年左岸に宝塚新温泉開業、さらに翌年パラダイスが開業、現宝塚少女歌劇の始まり。大正 13(1924)年宝塚大劇場完成、宝塚ルナパーク開業。

迎宝橋跡 迎宝橋は宝来橋下流約 300m に明治 43(1910)年架橋。宝塚南口駅と宝塚大劇場を結ぶ橋として利用されたが、何度も流されて昭和 25(1950)年流失を最後に廃止。

観光ダム 武庫川に水を貯め、観光客に潤いとやすらぎを提供するために、昭和 39(1964)年完成、当初は川幅いっぱいには作られたが現在のは低水敷幅で平成 11(1999)年に完成。

阪急今津線武庫川橋梁 大正 10(1921)年阪急電鉄の前身阪神急行電鉄の西宝線の鉄橋。平成 5(1993)年宝塚南口駅宝塚駅間の高架化工事のため架け替えられた。

宝塚大橋 昭和 8(1933)年完成、自動車の渡れる初めての橋。昭和 53 年(1978)架け替え。

亥の谷川 2 級河川。宝塚大橋下流右岸に合流。

支多々川 2 級河川。小逆瀬川とも呼ばれる。砂地で水流がしみこみ下流で現れ「滴る」からの川の名となったという。逆瀬川と同様暴れ川であったが六甲砂防の整備で現在に至る。

荒神川 武庫川左岸に合流する 2 級河川。延長 988m。中山寺奥の院付近から流れ渓谷を形成している。国道 176 号線一帯が溢水し浸水するので治水対策工事が行われ、同時に親水空間が設置された。

中州 右岸側逆瀬川の合流点を造成し、昭和 4 年(1929)中州楽園(温泉付き住宅地)が販売開始、翌年東洋一のダンスホール宝塚会館、中州温泉が開業。現在は住宅地となる。

宝塚会館跡 支多々川の合流点上流側に東洋一といわれたダンスホールがあった。昭和 5(1930)年に開場し戦前までダンスホールとしてにぎわった。その後ダンスホールは閉鎖され、昭和 27(1982)年再開、同 33(1958)年に閉鎖された

逆瀬川合流 大平山南側を源流とし、六甲山系の土砂を流出したので明治 30(1897)年から大規模な山腹砂防工事、下流については昭和 3(1928)年から砂防河川工事がされた。

伊子志(いそし)井堰 良元村の農業用水で現在は上水道の取水堰にもなっている。

伊子志の渡し跡 中山寺から小浜宿を通り、西宮に至る街道にある武庫川の渡しで、18 世紀の記録に残る。大正 8(1919)年洪水で舟が流されるまで続いていた。

床止(帯工) 河床の流失防止、可動の安定のために設けられている。帯工は落差が無い。

宝塚新大橋 昭和 35(1960)年完成、宝塚市役所の横に架かる。

宝塚市庁舎 著名な建築家村野藤吾(1891~1984)の作品。昭和 55(1980)年竣工。

昆陽(こや)井堰 伊丹市の農業用水、上水の取水堰。

大堀川 2 級河川。チボリゴルフ練習場下流で武庫川に合流する。源流は売布きよしが丘の北側にあり、中流で小浜の台地を周回する。

武庫川新橋 平成 6(1994)年完成、宝塚新大橋と甲武橋(国道 171 号線)との間が 4.3km あり、その中間に設けられた。

百間樋井堰 大市庄の灌漑用水として 16 世紀中頃に築造されたといわれる。仁川の下 100 間(約 180m)に当初は木製樋を埋めて送水していたが、大正 9(1920)年コンクリート製に変えられた。百間樋公園南側で吐き出される。現在は南部の農業用水、上水に使用される。

六樋井堰 尼崎の農業用水取水堰、昭和 3 年(1928)もと野間井など 6 個の井堰を合併し六樋とした。武庫川から伏流水を取水している。

天王寺川合流 長尾山系を源流とする天王寺川が合流する。上流で天神川が合流する。

8 号床止(落差工) 下流から 8 番目の落差工の床止。魚道が中央部にある。

川西川合流 伊子志井堰からの灌漑用水と逆瀬川上流からの良元用水が川西川に排水。武庫川との合流点の高水敷の沈下橋がある。

仁川合流 仁川は六甲山石の宝殿近くに源流を持ち、社家郷山から甲山の北を通り、仁川渓谷を抜けて武庫川に合流する。全長 9.9km。2 級河川。

百間樋公園 仁川右岸にある公園の地下を百間樋が通る。南側に放流口がある。

田近野(たちかの) もと武庫川対岸の西昆陽(尼崎市)の一部であったが延宝 8 年の武庫川の氾濫により分離した。昭和 44(1969)年武庫川河口の対岸の丸島(平左衛門新田)と交換され、西宮市となった。

武庫川サイクリングロード 一里山町から東鳴尾町まで全長 7.1km のサイクリング専用道路。

髭の渡し跡 西国街道の渡し跡、左岸(尼崎市)側に常夜燈、庚申塚が残る。

7 号床止工 河床の土砂が流出しないように設けられている施設。H=1.2m 河口まで 7 箇所ある。武庫川は上流三田地区よりも下流の大阪平野の方が仮称勾配が大きい。

常松中継ポンプ場 左岸にある武庫川広域下水道の中継ポンプ場(以下中継ポンプ場は同じ)。宝塚市、西宮市、尼崎市の広域下水道で河口の浄化センターまで送る。常松の地名はこの当り常なる松が多かったことからという。

山陽新幹線武庫川橋梁 山陽新幹線の橋梁。昭和 47(1972)年新大阪から岡山間開通。

甲武橋 国道 171 号線が渡る。明治 42(1909)年髭の渡しの代替として架設。橋名は右岸の甲東村、左岸の武庫村の名から命名された。昭和 28(1951)年新橋が開通。昭和 40(1965)年上り線が架橋された。連続形式の溶接桁橋として戦後初。武庫川の治水計画の基準点。

甲武橋水位観測所 甲武橋下流にある。

6号床止工 甲武橋と阪急線鉄橋の間に2箇所の床止工がある。6号 H=1.2m。

5号床止工 5号 H=0.7m。

瓦木中継ポンプ場 阪急電鉄橋梁上流右岸にある。武庫川下流広域下水道の施設。瓦木の地名は武庫川氾濫原の「河原」木から来ているといわれる。

中新田浄水場 淀川から引水する西宮市工業用水の浄水場。

水位標 新旧の水位標 新田水位観測所と文久元(1861)年建立の水位標(復元)がある。

阪急線橋梁 阪急神戸線武庫川橋梁。コンクリート製橋梁に架け替えられた。

上武庫橋 守部の渡しの代替となる。昭和 3(1928)年に架設現在の橋は平成 20(2008)年架設

守部の渡し跡 伊丹から西宮に当たる脇街道の一つ「津門の中道」の渡し。

山手大橋 山手幹線の橋梁。平成 14(2002)年架設され尼崎市と西宮市がつながる。

南武中継ポンプ場 JR東海道線橋梁上流左岸にある。

JR 神戸線武庫川橋梁 明治 7(1918)年全国初の鉄橋。明治 29(1896)年複線化、昭和 12(1937)年複々線化。

3号床止工 JR線のすぐ下流にある。H=1.2m。撤去計画。

枝川 弘治3(1557)年の武庫川氾濫により枝川ができた。更に元文 5(1740)年申年の枝川の氾濫で申川ができた。明治に入って 29, 30, 36, 38 年と連続して氾濫したため武庫川改修が必要となり、枝川、申川は廃川となり、埋め立てられ、大正 12(1923)年に竣工。この結果土地 81.7ヘクタールで工事費 100 万円を含めて 410 万円で阪神電鉄に売却された。

枝川樋門跡 旧枝川締め切りにより残された樋門跡。

旧枝川跡 阪神電鉄が旧河川敷を一括譲り受け、甲子園地区住宅開発、甲子園球場、遊技場などを作った。県はこの売却代金で武庫川改修、国道 2 号線建設に伴う武庫大橋の建設に当てた。

鳴尾浄水場 西宮市南部に給水する浄水場。旧甲子園ホテル北側にある。水源は井水。

武庫大橋 国道 2 号線に架かる橋。これまで旧国道に頼っていた東西幹線を大動脈に代るため現在の 2 号線が建設され、これに伴い大正 15(1926)年完成。全長 210m。景観に配慮した近代土木遺産(平成 18 年度)。親柱、バルコニーなどに大正モダニズムが各所に残る。

2号床止工 武庫大橋すぐ下流にある。H=1.0m。撤去計画。

小曾根水位観測所 武庫大橋下流にある。

1号床止工 武庫川橋すぐ上流にある。H=0.7m。撤去計画。

西新田の渡し跡 中国街道の渡し。西宮からは「小松の渡し」という。

ガス管橋 大阪ガスのガス管橋。

武庫川橋 旧国道(中国街道)にかかる橋。昭和 50(1975)年架橋、それ以前は不明。

阪神電鉄橋梁 橋梁上に武庫川駅がある。明治 38(1905)年阪神電気鉄道開通。

潮止堰 海水の遡上を防止するために設けられ、平成 5(1992)年改築され現在は可動堰。

阪神高速神戸線橋梁 昭和 56(1981)年開通。

南武橋 臨港線に架かる橋。昭和 33(1958)年架橋。

大庄ポンプ場 南部橋下流左岸にあり、尼崎市営の雨水の排水ポンプ場。

武庫川終点 阪神高速道湾岸線橋梁下右岸側と同橋梁少し上流の左岸を結んだ線が武庫川の終点。

武庫川唯一の干潟 武庫川右岸阪神高速湾岸線の下流に武庫川唯一の干潟がある。

阪神高速湾岸線武庫川橋梁 平成 6(1994)年開通。

防潮堤 昭和 25(1950)年阪神間を襲ったジェーン台風による高潮で尼崎市および西宮市南部は大きな被害を受けた。その後防潮堤が築堤された。

阪神武庫川線 阪神武庫川駅と洲先(スザキ)を結ぶ武庫川線に昭和 19(1944)年に川西航空機への輸送のため開設された旧国鉄線(西ノ宮～鳴尾・現洲先)が乗り入れ。狭軌と広軌の 3 本のレールがあった。その後浜甲子園団地が建設されるのに伴い武庫川団地前駅まで延長された。

兵庫県武庫川下流浄化センター 左岸河口にある。西宮市、宝塚市以南の浄化センター。

魚つり公園 昭和 57(1982)年開設。棧橋式の市立魚つり公園。海釣りが楽しめる。

武庫川水系河川整備計画(武庫川の川づくり)

平成 21 年兵庫県の武庫川流域委員会が「ダムによらない総合治水」を答申し、これを元に平成 23 年県は国交省の同意を得て計画期間 20 年間の「武庫川水系河川整備計画」を策定した。治水対策に加えて環境対策も盛り込まれた。

内容は 1.河川対策、2.流域対策、3.減災対策である。下流部については次のとおり。

1. 河川対策

- (1) 河道掘削(JR 東海道線橋梁下流から河口まで:潮止堰・床止工の撤去、河道・高水敷の掘削)
- (2) 堤防強化(南武橋～仁川合流点:浸透対策。護岸工)
- (3) その他(遊水池整備、青野ダム活用)

2. 流域対策(校庭貯留、公園貯留、ため池貯留など)

3. 減災対策

環境対策 汽水域の拡大(横断構造物の撤去による生物の移動の連続性角保)

干潟の創出(生物多様性向上)